

# 高田馬場に 潜む ミャンマーの影

木曜4限 12月7日1

## 目次

- ①ミャンマーについて  
(言語・宗教・民族問題・就労)
- ②高田馬場
- ③考察

## ミャンマーの国旗

以前の国旗



2010年までの国旗

2006年まで首都はヤンゴン

現在の国旗



新しい国旗

首都はネーピドー

3

## (3) ミャンマーの言語...

- ▶ 公用語は **ミャンマー語**。ただしイギリス植民地だったという影響や、小学校から英語を学ぶため英語を理解する人も多います。

**ミャンマー語のあいさつ**

こんにちは：ミンガラバー

ありがとう：チエーズーティンバデ

さようなら（また会いましょう）：トアウトオーメノ

はい：ヒオクケツ

いいえ：ヒイ イン

4

#### (4) ミャンマーの宗教

- ▶ 人口の90%が仏教徒といわれる仏教の国  
ミャンマーの人口の13%が僧侶
- ▶ 単に仏教といっても、大乘仏教とは違い、上座部仏教（小乗仏教）で、日本や中国などで浸透されている仏教とはまた違うもの。
- ▶ キリスト教もイスラム教も、ヒンドゥー教も、さらにミャンマー独自の「ナツ」という信仰もある。  
ミャンマーはその歴史でもわかるように非常に多くの民族が暮らす国。実に130を超える民族がいて、それぞれに信仰を持っている。

5

#### ミャンマーの民族間問題

- ▶ 人口の7割はビルマ族。そのほか、100もの少数民族が暮らしていると言われ、カレン族・モン族・パダウン族・カチン族・パオ族などさまざまな民族が独自の文化を守りながら生活しています。(5)
- ▶ ロヒンギャ以外にも民族間問題が存在する

6

#### ミャンマーの民族間問題②

- ▶ 様々な民族間問題を抱えるミャンマーで、今最も話題になっているのが「ロヒンギャ」問題
- ▶ 日本では群馬県館林市に約二百人のロヒンギャの方たちが暮らしている  
(田中 2016: 266)

難民認定をされていない

#### 平成28年 難民認定申請者数 (6)



申請者合計は10901人  
申請者処理数は8193人

この中で  
28人が  
難民認定

(甲 2017:73)

(猿橋 2013:104)

8

日本にはミャンマー人学校は無い  
が！！！！！！！！

## 「日本ミャンマー・カルチャーセンター」

... (7) 、 (8)

高田馬場駅の、新目白通りに向かう通りの  
「GRACE高田馬場」の中にたたずむ。  
子どもの学習指導などミャンマー人に対する日  
本語支援とともに、両国の文化交流を進める団  
体だ。在日ミャンマー人の様々な相談にも乗っている。  
日本人向けには、ビルマ語だけではなく、豎琴、料理、  
伝統舞踊など、いろいろなビルマ文化を体験し習得でき  
る講座を開いている。

10

## (9) 新宿区の多文化共生策

- ▶ 新宿区には2017年9月1日現在、**約4万2千人**の外国人  
が暮らし、区民の**約12%**が外国人となっています。区  
では、外国人が多く住み暮らすことを区の特長として積極  
的にとらえ、国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違  
いを認め、理解しあい、共に生きていく多文化共生のまち  
づくりを推進しています。

11

## 主な多文化共生に向けた取り組み



- ▶ ・日本語教室
- ▶ ・外国語による情報提供
- ▶ ・外国にルーツを持つ子どもの学習支援
- ▶ ・外国人相談窓口の設置

12

(10) セブン銀行と新宿区が  
「多文化共生の推進に関する協定書」を締結！！

**目的：**新宿区に居住する外国籍住民の豊かな生活と、地域社会における多文化共生の推進

**※具体的な内容**

- 1、セブン銀行海外送金サービスアプリを活用した、新宿区に居住する外国人住民向けの多言語による情報発信
- 2、セブン銀行新宿歌舞伎町コーナー共同出張所における新宿区に居住する外国人住民向けの広報物などの配架

13

## 高田馬場



(Google マップ 2017.12.04閲覧)

14

## 高田馬場のミャンマー人口... (11)

高田馬場だけで **約500人**  
周辺の下部落、豊島区高田なども加えると **1000人近く**

15

## 高田馬場にミャンマー人が多い理由... (12)

日本にいるミャンマー人の多くは旧軍事政権による迫害を恐れ、本国を逃れてきた **難民**

- (1) JR山手線の沿線で **交通の便が良い**
- (2) **家賃が安く** 外国人にも部屋を貸してくれる家主がいるから

ミャンマー人は1990年代、実は西武新宿線の中井駅周辺に住む人が多かった。同国出身の仏教の僧侶がいて、彼の住む寺院がコミュニティーの核になっていた。時を経るとともに、便利な高田馬場に移ってきた。

16

## ミャンマー人の日本への出稼ぎ (13)

日本で働く方法は...??

- ①技術者として日本の就労ビザを得て働く
- ②観光ビザ、あるいは修学ビザで入国して、滞在許可が切れてもそのまま違法滞在して働く
- ③外国人研修制度を利用して働く

17

## ミャンマー人の働き場所 (14)

No 1 ..... 飲食店

### 特徴

- ・男女とも水商売では働かない
- ・日本に来るミャンマー人の80%は大卒や医者や先生の人が多い
- ・掛け持ちで働く者も多い

18



日本で働きやすいのか、なじめるのか



目上の人を敬う文化

言語の習得は10  
日本語を

気質...穏やか、

このような理由から  
就業した際の定着率は非常に高く  
職場環境や生活にもなじみやすい

20

17SG1251横尾日菜乃  
2017.11.29撮影

穏やかでおしゃべり

しかし!

日本人に対しても  
フレンドリーなのでは...?

入ろうとすると異常に見られる・・・

- ・ 店員同士はとても仲がよさそうに見える
- ・ 入っていく客は基本外国人
- ・ アパートの一室を店にしているためとても狭い

(15)

ミャンマーの国旗



高田馬場駅を出て  
すぐ右側に広がる光景



17SG1191平井桃子 2017.11.23撮影

「タックイレブン 高田馬場」

エレベーターの横に貼ってある  
ミャンマー語の注意書き

17SG1191平井桃子  
2017.11.23撮影

ミャンマーの物産を扱う  
スーパー 「BAGAN」




ミャンマー人が集う雑居ビル  
「タックイレブン高田馬場」

17SG1191平井桃子  
2017.11.23撮影




# 「さかえ通り」 東京富士大学に向かう商店街



17SG1191 平井桃子  
2017.11.23撮影



17SG1191  
平井桃子  
2017.11.23  
撮影



さくらミャンマー

## 代表的なミャンマー料理... (16)



タンパウ  
(炊き込みご飯)



モヒンガー  
(魚のスープ麺)



ラベットウ  
(お茶の葉のサラダ)

## 考察

- ▶ 高田馬場は、日本側がミャンマー人を受け入れようとしてミャンマーエスニシティが誕生したというよりは、ミャンマー人たちが自ら、自分たちの住みやすい街にしようとして互いに協力して、ミャンマー人が集いやすい憩いの場を設けたりするなど動いた結果、ミャンマーエスニシティが根付いた都市と考えられると思う。現に、「タックイレブン高田馬場」や「日本ミャンマー・カルチャーセンター」は、ミャンマー人たちの駆け込み場となって彼らの生活を支えている。(平井)
- ▶ 国際的に難民の受け入れが問題になっている中で、日本は受け入れ数が他の国々と比べるとごく少ない。現に難民申請者数が年々増加していることにその事実を見受けられる。特にロヒンギヤンの民族浄化が問題視される中、日本の難民受け入れが今後の課題だと思われる。(佐俣)
- ▶ 日本人と考えや気質が似ているため、ミャンマー人は日本が働きやすい環境であることが分かった。移民にとって馴染める就職先があることは重要だと思った。(横尾)
- ▶ 多文化共生策は日本にいる外国人の目線で考えると住みやすい環境になるだろうし、新宿区側も外国人が多いところを欠点と考えず特性としているところが良い。特に取り組みとして外国人の大人だけでなく子供の学習支援は現在の日系ブラジル人などの外国人が抱える問題でもあるから良いことである。(大隅)

## 注①

- ▶ (1)世界地図・世界の国旗世界地図・世界の国旗-白地図・デザイン地図や国旗のフリー素材, 「ミャンマー(ビルマ)の国旗」(<http://www.abysse.co.jp/world/flag/other/myanmar-old.html>) 2017.11.25閲覧。
- ▶ (2)世界地図・世界の国旗世界地図・世界の国旗-白地図・デザイン地図や国旗のフリー素材, 「ミャンマーの国旗」(<http://www.abysse.co.jp/world/flag/asia/myanmar.html>) 2017.11.25閲覧。
- ▶ (3)DTACミャンマー観光情報局, 2017, 「ミャンマーの基礎知識」(<http://dtac.jp/asia/myanmar/data.php>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (4)東南アジア文化研究室, 「ミャンマーの宗教」(<https://southeastasia-culture.com/myanmar/myanmar-2/>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (5) DTACミャンマー観光情報局, 2017, 「ミャンマーの基礎知識」(<http://www.dtac.jp/asia/myanmar/data.php>) 2017.11.25閲覧。
- ▶ (6)法務省, 2017, 「平成28年における難民認定者数等について」([http://www.moj.go.jp/nyuukokukanni/kouhou/nyuukokukanni03\\_00122.html](http://www.moj.go.jp/nyuukokukanni/kouhou/nyuukokukanni03_00122.html)) 2017.11.30閲覧。
- ▶ (7)藤巻秀樹, 2012, 「東京のリトル・ヤンゴン、高田馬場」(<http://business.nikkeibp.co.jp/article/report/20120618/233451/>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (8)日本ミャンマーカルチャーセンター, 「活動内容【公式HP】」(<http://ミャンマー語.com/action.html>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (9)新宿区, 2017, 「多文化共生関連施策一覧」([http://www.city.shinjuku.lg.jp/tabunka/bunka01\\_000008.html](http://www.city.shinjuku.lg.jp/tabunka/bunka01_000008.html)) 2017.12.6閲覧。
- ▶ (10)日本経済新聞, 2017, 「セブン銀行、新宿区と『多文化共生の推進に関する協定書』を締結」([https://www.nikkei.com/article/DGXLRSP461542\\_W7A021C1000000/](https://www.nikkei.com/article/DGXLRSP461542_W7A021C1000000/)) 2017.12.6閲覧。
- ▶ (11)前掲(7)

29

## 注②

- ▶ (12)前掲(7)
- ▶ (13)ミャンマー歳時日記, 2007, 「ミャンマー人の日本への出稼ぎ」(<http://myanmar-yangon.net/2007/07/ミャンマー人の日本への出稼ぎ/>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (14)グローバルニュースアジア, 2017, 「ミャンマー人スタッフが増える銀座の居酒屋」(<http://www.globalnewsasia.com/article.php?id=4390&country=1&p=2>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (15)ASEAN Journal, 2016, 「ミャンマー人採用の実態」(<http://www.nodejpn.com/journal/humanresource/505.html>) 2017.12.1閲覧。
- ▶ (16)ホットペッパーグルメ, 「ミャンマー料理」(<https://www.hotpepper.jp/strJ001082865/food>) 2017.12.1閲覧。

30

## 参考文献

- ▶ 田中義隆編訳, 2016, 『ミャンマーの歴史教育：軍政下の国定歴史教科書を読み解く』明石書店。
- ▶ 申恵媛, 2017, 「多層化する結節点としての「高田馬場」：「ミャンマー・コミュニティ」調査から」『*相関社会科学*』26号, pp.73-78。
- ▶ 「Googleマップ」(<https://www.google.com/maps/@35.713639,139.7014937,17z?hl=ja>) 2017.12.4閲覧。
- ▶ 猿橋 順子, 2013, 「エスニックビジネス経営者の言語管理とエンパワメントー高田馬場界隈のビルマレストランを事例としてー」『*青山国際政経論集*』89号, pp.99-125。

31